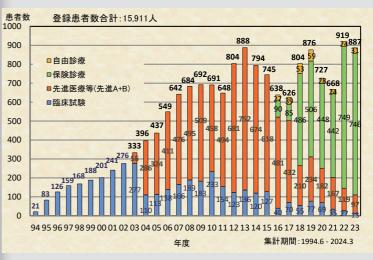
重粒子線がん治療の適応疾患と実績

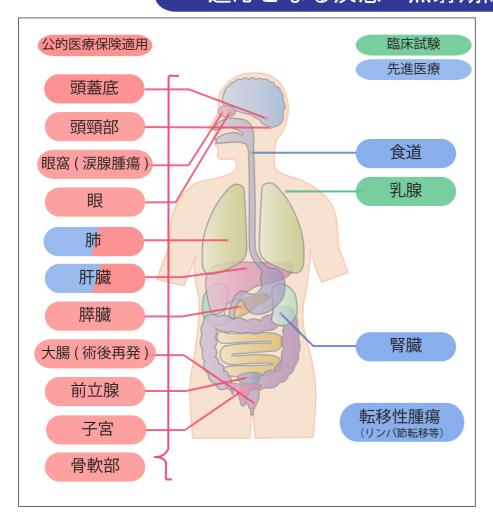
QST病院における重粒子線治療の登録患者数 照射開始日:1994年6月~2024年3月 合計 15,911人 ®スキャニング照射 回転ガントリー (19)照射後再発 1.125(7.1%) 1.407(8.8%) 41(0,2%) AM:0 S:41 AM:1,098 S:337 1(0.01%) (20) 5.018(31.5%) (16)腎臓 36(0.2%) 19 ②骨·軟部 1 1,511(9.5%) 15乳腺 52(0.3%) ③頭頸部 Total AM:0 S:26 1,490(9.5%) (14) 涙腺 (8) 15 911 44(0.3%) AM: 11,993 4)肺 S: 6.278 1,229(7.7%) ③腹部リンパ節 122(0.8%) ⑤膵臓 ①中枢神経 1,010(6.3%) 106(0.7%) AM:0 S:0 ⑩消化管 140(0.9%) ⑥肝臓 ⑪頭蓋底 ⑧婦人科 ⑦直腸術後 922(5.8%) 341(2.1%) 361(2.3%) 816(5.1%) 139(0.9%) AM · 124 S·73 M-678 S-268 AM:676 S:23

QST病院における重粒子線がん治療の 診療区分別登録患者数の推移

(1994年6月~2024年3月)



適応となる疾患・照射期間の目安



【保険診療として治療されている疾患】

手術による根治的な治療が困難な疾患が 対象となります。(前立腺がんをのぞく)

頭頸部がん

鼻・副鼻腔・唾液腺等 ・・・・ 涙腺がん ・・・・・・・・・ 眼腫瘍(悪性黒色腫)・・・・・	4 週間 3 週間 1 週間
・肝臓がん・・・・・・・2 日~	3 週間
・膵臓がん・・・・・・・・・	3 週間
・大腸がん(術後再発)・・・・・	4 週間
・前立腺がん・・・・・・・・	3 週間
・子宮がん・・・・・・・・・	5 週間
婦人科領域の悪性黒色腫・・・・	4 週間
肺がん(I-IA期)・・・1日~	4 週間
・骨軟部腫瘍・・・・・・・・	4 週間
『 生光医療』」で次度されている点	⇔ ₹

【先進医療として治療されている疾患】

食道がん	(I期)	-		٠	٠	٠		3 週間
肺がん(
局所進行	行がん		٠	٠	٠	٠	٠	4 週間

保険適用以外の早期がん・・1 日~ 4 週間・腎臓がん・・・・・・ 3 週間・腎臓がん・・・・・・・ 3 週間

・肺転移・肝転移・・・・・・1日~3週間

・リンパ節転移・・・・・・3週間~4週間・その他、学会の統一方針で定められたもの

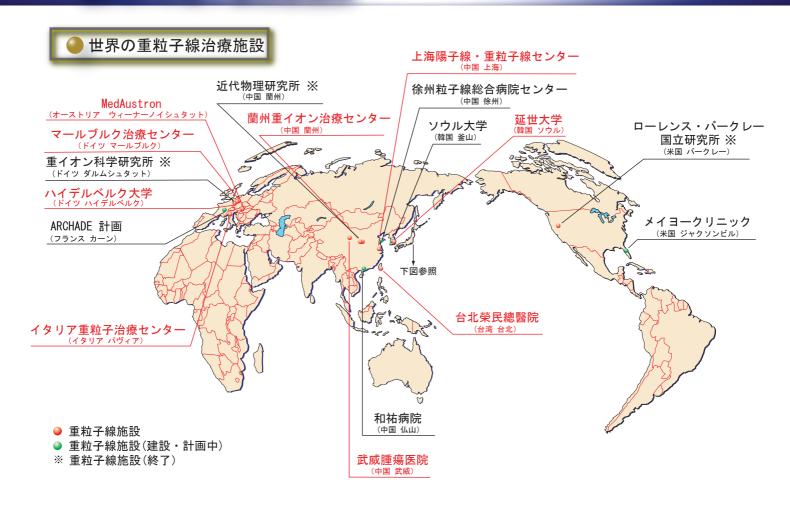
・・・・2日~5週間

【臨床試験として治療されている疾患】

・食道がん(Ⅱ・Ⅲ期、手術前の照射)

・乳がん・・・・・・・ 2 週間 ・乳がん・・・・・・・ 1 週間

国内外の重粒子線治療施設





国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 量子医科学研究所